Market Letter 情報提供資料

ブラジル大統領選はボルソナロ氏優勢で決選投票へ

政権交代への期待が高まる

2026年10月5日

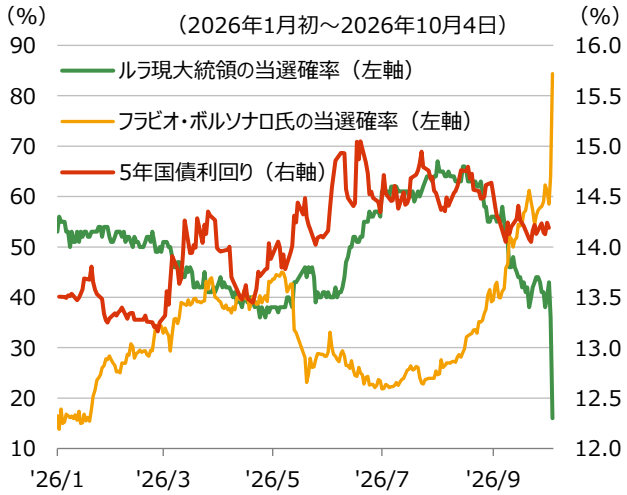
第1回投票は右派のフラビオ・ボルソナロ氏が想定以上の得票率に

ブラジルでは10月4日（現地、以下同様）に大統領選挙の第1回投票が実施されました。開票率99%時点で、得票率は右派のフラビオ・ボルソナロ氏が47.21%、左派のルラ現大統領が44.95%です。過半数の票を獲得した候補者がおらず、上記2名による決選投票（10月25日）に進むことが確実視されています。

従前の世論調査によると、第1回投票ではルラ氏の得票率がボルソナロ氏を上回り、中道右派の候補者の票がボルソナロ氏に流れることで、決選投票は接戦になるとの見方が主流でした。しかし、蓋を開けると第1回投票の結果は予想外にボルソナロ氏の得票率の方が高くなり、賭けサイトのPolymarketではボルソナロ氏の当選確率が8割超まで上昇しています。ボルソナロ氏が当選すれば、拡張的な財政政策からの転換や米国との関係改善、レアアースなど重要鉱物開発の投資加速などが期待されるため、ボルソナロ氏の優勢を受けてブラジル金融市場はトリプル高で反応すると想定されます。

また、ボルソナロ氏は選挙公約の1つに大統領の再選禁止を掲げていることもあり、今回は次回2030年の大統領選挙の前哨戦とも言われるサンパウロ州知事選も注目を集めました。結果はボルソナロ氏の後継者になる可能性が高いとされる現職で中道右派のタルシジオ・フレイタス氏が62%超（開票率99%時点）の票を獲得し、ハダジ前財務相を圧倒して第1回投票での当選を確実にしています。右派政権が続くとの観測から、中長期的な視点でもブラジル金融市場に資金が流入しやすくなると期待されます。

ブラジル大統領選挙の当選確率と金利



※当選確率は賭けサイトPolymarketに基づく
※国債利回りは2026年10月2日まで

（出所）Polymarket、ブルームバーグ

フラビオ・ボルソナロ氏の主な選挙公約

項目	内容
財政規律強化	基礎的財政収支の黒字化、政府債務対GDP比の安定化・低下、歳出管理強化
税制改革	付加価値税の引き下げ、設備投資・輸出への課税軽減、税制の簡素化
行政改革	10以上の省庁を削減、政治任用ポストの削減、行政のデジタル化・効率化
選挙制度改革	大統領の再選制度を廃止
インフラ投資	物流インフラ整備、エネルギー投資、農業インフラ拡充、重要鉱物開発、データセンターなどデジタル基盤整備
国有企業改革	政治任用の排除、専門家による経営、国有企業のガバナンス強化
治安強化	組織犯罪対策、刑務所増設など

（出所）選挙公約、各種報道を基に大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。